

	<p>学校だより</p> <h1>芽吹 き</h1>	<h2>教育目標</h2> <ol style="list-style-type: none"> 1 自ら学び、考え、実践できる人になろう (賢く) 2 思いやりのある、心豊かな人になろう (優しく) 3 心身ともに、たくましい人になろう (逞しく)
<p>NO.134</p>	<p>令和3年3月25日発行 中野区立南中野中学校</p>	

いつくしみをわが胸に 善きことばをわが口に

校長 池田 浩二

3月19日、本校第12回目の卒業式を挙行了しました。新型コロナウイルスの影響で縮小や中止の連続を強いられた1年間でした。卒業式にも様々な制限がありましたが工夫を凝らした式を作り上げ108名の卒業生を華やかに送り出すことができました。

式辞の一部を掲載します。

さて、今日君たちは本校を卒業しますが、このような状況の中で卒業を迎えるみなさんには、母校である南中野中学校の校歌に込められた思いを胸に、人生を歩み続けてほしいと思っています。私たちが大切に歌い続け、今日もこの式の最後に君たちの録音により披露される南中野中校歌には、「いつくしみをわが胸に、善きことばをわが口に」、そんな歌詩が歌われています。



君たちが中学生時代を過ごした3年間は、世界の先進国、経済大国と呼ばれる国々を中心に、自国優先の風潮が強くなった時代でもありました。自分たちさえ良ければ、今まで人類が築き上げてきた国際的なルールさえないがしろにされてしまうような悲しい状況に数多く直面しました。そんな悲しい方向に全世界が動いていってしまうのではないかと思われていた中、新型コロナウイルスの脅威が私たち全人類に突きつけられました。全世界の医療従事者が昼夜を問わない戦いを続け、人類の英知を集めたワクチンの開発が今も進められています。

しかし、一方では国際社会にワクチン格差が生まれいるのも事実です。ごく一部の人や国だけがワクチンを独占し接種できたとしても、地球規模での接種が進まなければ、そこに人類がコロナを克服する道はありません。私たち人類は、先進国と開発途上国が手を携え、天然痘を根絶しポリオも根絶までもう一歩の所まで克服している歴史を持っています。世界中の人たちが、自分や自国のことだけを考えるのではなく、地球規模の思いやりの心をもつことが望まれています。そんな相手を思いやり尊重する気持ちが『いつくしみ』となって君たちの心に育っていくことを願っています。

もう一つ歌われている『善きことば』も君たちの中で育てていってほしいも

のの一つです。ことばは、私たち人類が生み出した最も優れた道具だと思いません。ことばによって文化は生まれ、話し合うことで世界平和は築き上げられてきました。しかしこの素晴らしい道具も使い方を誤るとそれは暴力にもなり、人を追い詰める凶器にもなりかねないのです。インターネットに代表される文明の進歩は、一方で SNS を介しての新たなことばの暴力も生み出しています。誹謗中傷は相手の人格を否定し、多くの悲しい結末を生み出しています。ヘイトスピーチに代表されることばの攻撃は悲しい分裂と対立しか生み出しません。

しかし、ことばはその使い方一つで私たちを力付け奮い立たせてくれる、何物にも代えがたいものにもできるのです。私はこの一年でそんな場面を数多く君たちに見せてもらいました。

新型コロナウイルスの影響で多くのことが中止や縮小を強いられ、南中野中の二大行事である運動会や文化発表会も大きな変更をせざるをえませんでした。しかし、君たちと私たち南中野中に関わる全員が自分たちの持っている知識・能力・経験のすべてを駆使して新しい学校行事を生み出そうと努力しました。そんな中で作り出した運動会の選手宣誓にも、文化発表会の実行委員長あいさつにも「開催していただいたことに感謝して」のことばが盛り込まれていました。君たちのこのことばに私たちがどれだけ力をもらい、君たちの3年間の成長を感じさせられたことでしょう。

卒業生のみなさん、君たちの人生はまだ始まったばかりです。校歌にも歌われているようにまことを尽くし、誇りを守ってこれからの人生を歩いてってください。



卒業生 別れの言葉

紙面の都合上、一部を掲載しています。

中学三年生。一つになってみせた南中魂。どの行事にも「最後」という言葉がつく三年生は少し名残惜しい気分にもなりました。闘志を燃やした運動会。個性が光る南中ソーラン。一人一人が考え、動いた迫力のある演技。団体競技では絆がより一層深まりました。全力を注いだ部活動。共に喜び、共に涙し、築いた友情。最高の仲間がいてくれたから続けられた三年間。このような中でも後輩にバトンを渡すことができ良かったです。クラスで取り組む最後の行事、文化発表会、合唱コンクール。最優秀賞を目指して全力で取り組んだ練習。笑ったり、泣いたり、すれ違う気持ち。しかし、目指すところはみんな同じ。互いを高め合い、困難を乗り越えた先に待っていた、喜びと達成感。縮小はされましたが、最後の二大行事ができたことをとても嬉しく思っています。そして、中学校の集大成、互いに励まし合い、支え合って迎えた受験。自分の好きなことをたくさん我慢して、ストレスに負けそうにもなりましたが、家族や先生、友達などの多くの人に支えられていることを実感し、乗り越えることができました。たとえ目標通りの進路でなくても、大きな成長、素晴らしい経験に

つながった真剣な努力。南中で培った経験は私たちの大きな自信となり、誇りとなるでしょう。満足できないこともあったかもしれませんが、しかし、全てが良い思い出で、今まで過ごした日々を決して忘れません。

今、私たちが卒業式を迎えられたのは、多くの方々の支えがあったからです。私たちが安全に気持ちよく学校生活を送れるよう、学校の整備、清掃に努めてくださった主事さん。私達が健康に遊び、学び、成長できるよう、おいしい給食を作ってくくださった栄養士さん、給食室の方々。登下校を温かく見守ってくださった地域の方々。本当にお世話になりました。そして、先生方。どんなことがあっても私たちのことを第一に思って指導してくださいました。注意もたくさん受け、迷惑をかけてしまいました。けれど、先生方は、私たち一人一人にしっかりと向き合ってくださいました。そして、それぞれが希望する進路の実現のために尽力してくださいました。不安も多かった三年間。いつも私たちに寄り添い、見守ってください、本当にありがとうございました。今日までの十五年間、私たちを育ててくれたお父さん、お母さん、家族のみんな。ありがとう。時に反抗し、素直になれなかったけれど、どんな時でも私たちのことを思ってくれました。口うるさく言われ、けんかすることもあったけれど、それも全部、私たちへの大きな愛情だということは忘れません。高校受験という大きな壁を一緒に乗り越えてくれてありがとう。今、こうやって夢や希望に向かっていけるのは、家族のおかげです。この三年間の生活で家族という存在は自分自身の心の大きな支えでした。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも迷惑をかけると思いますが、よろしく願います。在校生の皆さん。今年度はコロナ禍であまり縦割りの活動がありませんでしたが、私たちは先輩として背中を語ることはできていたでしょうか。私たちは脈々と受け継がれてきた南中の歴史を胸に、先輩としての姿を見せてきたつもりです。今日、先輩方から受け取った南中のバトンを皆さんに引き継ぎます。どうか、これからも南中を今以上に素晴らしい学校にし、後輩たちに引き継いでいってください。応援しています。最後に、三年間、共に笑い、共に泣き、共に励まし合い、共に成長してきた学年の仲間へ。みんなと一緒にだったからこそ、最高の一年になりました。悩みを打ち明けることができず、下を向いていたとき、そばにいてくれて救われました。ぶつかり合ったこと、なんてことない話で盛り上がったこと、肩を組んで笑い合ったこと。全ての出来事が私たちの大切な思い出であり、宝物です。今まで本当にありがとう。みんなには感謝してもしきれません。

今日、私たち一〇八名は南中を巣立ちます。これから私達はそれぞれの進路に向かって一步一步自分の足で歩いていきます。楽しいこともあれば、苦しいこともたくさん待ち構えていることでしょう。けれど、この三年間で培ったものは、必ずどこかで役に立ちます。私たちはこれからも最後まで諦めず、この南中野中学校で得た多くの思い出、学び、誇りを人生の糧として精一杯努力していきます。いつかまた、笑い合っただけ大きな笑顔の花を咲かせる日が来ることを願って。



4月の行事予定

日	曜	内 容
1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	春期休業終
6	火	前期始業式
7	水	入学式
8	木	教科書配布 生活ガイダンス 保護者会
9	金	新入生歓迎会 部活動説明会
10	土	
11	日	
12	月	全校朝礼 身体計測 給食開始
13	火	正規時間割始 安全指導 専門委員会
14	水	
15	木	避難訓練 内科検診PM(1)
16	金	中野区学力調査
17	土	公開日 P T A 総会
18	日	
19	月	生徒会朝礼
20	火	内科検診PM(2)
21	水	
22	木	内科検診PM(3)
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	学年朝礼 あいさつ強化週間始
27	火	移動教室(1)
28	水	
29	木	昭和の日
30	金	離任式 あいさつ強化週間終